

位置図



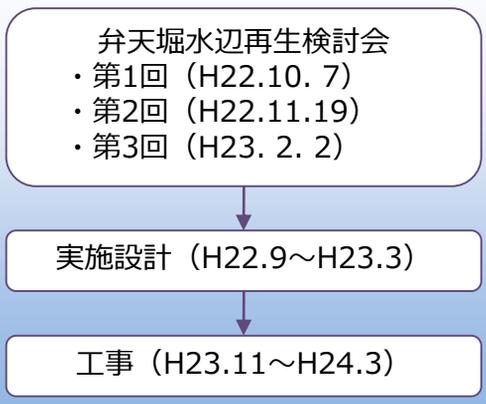
事業概要

事業期間	平成22年度～平成23年度	
総事業費	15,119千円	
工事延長	延長 L=103.5m	
事業内容	植生ロール工	L=93m
	流れ石組み工	L=73m
	植栽工	N=1式
	デッキ工	N=2箇所
	安全施設	N=1式

地域の声

ホタルが飛び交っていた昔の川に再生したい。

事業経緯



検討会メンバー
自治会、ふるさとづくり実行委員会、
用水組合、狭山市、県



地域活動

- ・ふるさとづくり実行委員会が月3～4回ホタルの生息環境づくり等実施
- ・地域住民が定期的に水路の草刈り清掃を実施

整備の状況



整備前
コンクリート水路で生物の生息に適さず、親水性に乏しい (H23.7撮影)



整備後
水路内の盛土や植生により生息環境を整備。沿道に安全施設を整備。

整備テーマ
ポイント

地域住民が水辺に愛着を持ち、ふるさとを実感できる水辺の整備

- ポイント①：ホタルが生息できる環境を整備
- ポイント②：水辺に近づく親水施設を整備
- ポイント③：隣接町道の通行の安全性を確保

★：ビューポイント

盛土の流失を防ぐ植生ロール工

既設水路内の盛土の流失を防ぎ、早期に植生基盤を安定させるためヤシ繊維質のロール状土留めを設置する。



水際に変化を持たせる流れ石組み工

水際に石組みを施工することにより盛土の流失を防止するとともに水の流れに変化を持たせる。



植生により多様な水辺環境を創出

盛土部及び水際に植生を行い、多様な水辺環境を整備する。植生により日陰ができることで水温上昇の抑止も期待される。

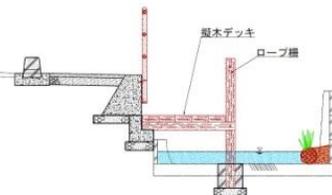


平面図



親水性を高めるデッキ

水辺を鑑賞するスペースとして整備する。デッキの下は日陰となり魚の休み場所となり、夏期の水温上昇を抑制する効果も期待される。



安全を確保するパイプ柵

水路沿いにパイプ柵を設置し、散策する方や通学児童等の安全を確保する。



横断面図

